

建設業景況調査

2020年度 第2回

【東日本大震災 被災地版】

（ 2020年 7月～ 9月 実績 ）
（ 2020年10月～12月 見通し ）

2020年10月



東日本建設業保証株式会社

目 次

I. 建設業景況調査(東日本大震災 被災地版)について	
1. 調査要領	1
2. B.S.I.およびグラフの見方について	3
3. 今回調査の実施要領	4
II. 調査結果	
1. 概観	5
2. 主要項目別の動向	
(1) 地元建設業界の景気	6
(2) 受注	6
(3) 資金繰り	8
(4) 金融	8
(5) 資材	10
(6) 労務	11
(7) 収益	12
III. 付属統計資料	13

I. 建設業景況調査(東日本大震災 被災地版)について

1. 調査要領

(1) 調査の目的

東日本大震災により甚大な被害があった地域の建設企業の景気動向を、総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

(2) 調査の時期

毎年3、6、9、12月

(3) 調査項目

地元建設業界の景気、受注、資金繰り、金融、資材、労務及び収益の状況

(4) 調査対象

建設業景況調査対象企業のうち、東日本大震災に際し災害救助法が適用された市町村であって、次のいずれかに該当する市町村に所在する企業

- ・太平洋沿岸部の市町村
- ・住家被害が大きいと判断した市町村(根拠となる計算式は②のとおり)

なお、調査対象企業は原則として固定しています。

① 対象となる市町村

青森県	八戸市、おいらせ町
岩手県	宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
宮城県	仙台市宮城野区、仙台市若林区、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、涌谷町、美里町、女川町、南三陸町
福島県	郡山市、いわき市、須賀川市、相馬市、南相馬市、矢吹町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町
茨城県	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、八千代町
栃木県	真岡市、益子町、茂木町、芳賀町、高根沢町、那珂川町
千葉県	旭市、山武市、九十九里町

② 住家被害が大きいと判断した計算式

$(\text{全壊した住家数} + \text{半壊した住家数} \times 0.5 + \text{一部破損した住家数} \times 0.2) \div \text{住宅数}$
が5%を超える市町村

※被災した住家数は、消防庁災害対策本部発表資料(平成23年6月16日現在)に基づく

※住宅数は、平成20年住宅・土地統計調査(総務省発表)に基づく

(5) 集計方法

企業回答を単純集計

(6) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(7) 留意点

東日本大震災被災地版は、季節調整を行っていません。

発行:東日本建設業保証株式会社
東京都中央区八丁堀2-27-10
TEL 03(3552)7528(代)